

## 日航財団、「2004JALスカラシッププログラム」を開催！

～31回目のプログラム、日本への理解と地球人育成を目指すJALグループの社会活動～

2004年7月8日

第04034号

JALグループの(財)日航財団(理事長:近藤 晃)は、7月11日から8月3日までの24日間、アジア・オセアニアの11ヶ国・地域から大学生36名を招聘し、31回目となる「2004JALスカラシッププログラム」を開催します。

今回のプログラムは、「地球人とはー21世紀型社会の実現をめざしてー」をテーマに、日本理解講座やホームステイ、石川県金沢市での学生セッション、アジアフォーラム、フィールドトリップなどに臨みます。日本理解講座では多彩な講師陣を迎え、日本文化や経済のみならず、富士山に関する自然環境やバリアフリー社会等について学びます。アジアフォーラムでは基調講演や記念講演、パネルディスカッションを通して、プログラム全体のテーマの核心に迫ります。フィールドトリップでは釧路、徳島、大分、沖縄の4ヶ所をグループに分かれて訪れ、夫々の場所で地球環境、共生、地域振興などを実地に体験し、学びます。

1975年、日本航空は、日本理解と共に、相互理解と地球人育成を目的としたプログラムを創設し、アジア・オセアニアの国から大学生を日本に招きました。1990年の日航財団発足を機に、運営を財団に移管し、その後も時代のニーズを反映しながら、その内容を拡充・発展させてきました。「JALスカラシッププログラム」は2003年までに1,178名の学生を迎え、卒業生の多くは、「日本とアジア」、「アジアと世界」の架け橋として各界で活躍されています。

JALグループと日航財団はこの一連のプログラムが、21世紀を担うアジア・オセアニアの若い世代に日本への理解を深めてもらうと同時に、相互の信頼関係とネットワークを通じて、さらに良好な国際関係進展の一助となることを願っています。

### (主な内容)

#### 7月12日～15日、20日 日本理解講座 (東京)

多彩な講師陣を迎え、日本文化・経済、バリアフリー社会などについて学びます。

#### 7月16日～18日 フィールドトリップ

グループに分かれ、釧路、徳島、大分、沖縄を訪れ、地球環境、共生、地域振興などを実地に体験し、学びます。

#### 7月21日～29日 学生セッション、アジアフォーラム、日本文化体験(石川県金沢市、松任市)

基調講演、記念講演、パネルディスカッションなどを通じて、テーマを深く掘り下げます。

#### 7月30日～8月2日ホームステイ(東京地区)

日本の家庭での生活を实地に体験し、日本に対する理解を深めます。

## 参考：「JALスカラシッププログラム」の経緯と実績

### 1. 発足に至る経緯

1970年代初め、高度成長期の日本の行動に対する批判がアジア各地で高まり、日本製品排斥運動や日本批判の嵐が吹き荒れていた。その中で田中角栄元首相が1974年にJAL特別便でアセアン諸国を訪問した際、タイやインドネシアで学生を中心とする反日デモに遭遇した。これを知った当時のJAL社長(朝田静夫)は、JALが乗り入れているこの地域の若者に実際の日本の姿を見てもらえば相互理解を促進することができると考え、日本とアジアの友好のために「JALスカラシッププログラム」を1975年に発足させた。その後2度にわたるオイルショックなど、厳しい経営状況の時期もあったが、毎年継続実施し、2000年には25周年を迎えた。

### 2. 発足後昨年までの実施年度と対象国および参加者数

1975年より毎年1回実施し(但し、1976年のみ春・夏2回実施)、2003年で30回目となった。初年度は香港・インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポールから30名を招待した。その後順次対象とする国・地域を拡大していったが、1992年度からアジア・オセアニアに絞ることとした。昨年までの総参加者数は1,178名になる。

【2003年までの国・地域別参加者数、及び、2004年度参加予定者数】			
	期間	累計	2004年度予定者数
香港	'75~'97	106名	-
フィリピン	'75~	129名	2名
シンガポール	'75~	129名	3名
マレーシア	'75~	128名	3名
インドネシア	'75~	129名	3名
タイ	'76~	125名	3名
米国	'77~'91	63名	-
ブラジル	'80~'90	24名	-
韓国	'81~	89名	4名
オーストラリア	'83~	57名	3名
ニュージーランド	'83~'01	35名	2名
中国	'85~	88名	6名
台湾	'91~	42名	4名
ベトナム	'92~	34名	3名
総計		1,178名	36名

注) 香港からの参加者は、98年から中国へ計上

### 3. 卒業生の組織化

JALスカラシップの卒業生の多くは、各国・各界の第一線で活躍しており、90年にはマレーシアで大臣が誕生した。ほとんどの国では、国単位の同窓会を組織しているが、93年から全卒業生を対象とした国際的な組織作りを開始し、昨年度より、再度のデータ収集・整理など再活性化を進めている。